

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県久米島

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の
達成状況等

1 令和5年産の生産実績												
	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H28年産実績	195	112	600	907	7,808	5,963	5,552	6,087	15,205	6,658	33,325	55,187
H29年産実績	168	69	658	895	7,366	5,433	5,234	5,649	12,363	3,751	34,451	50,565
H30年産実績	169	136	616	921	8,106	5,380	5,492	5,954	13,667	7,321	33,830	54,818
R元年産実績	146	114	670	930	6,833	4,777	4,707	5,049	9,953	5,455	31,530	46,938
R2年産実績	177	150	654	981	6,704	4,303	4,715	5,011	11,857	6,451	30,856	49,164
R3年産実績	131	112	667	910	6,962	5,346	5,321	5,561	9,122	5,980	35,471	50,573
R4年度実績	203	106	662	971	6,362	4,940	5,326	5,500	12,886	5,246	35,259	53,391
R5年増産計画	250	160	655	1,065	7,000	5,000	5,000	5,469	17,500	8,000	32,750	58,250
R5年増産実績	133	122	695	950	5,634	4,078	4,959	4,270	7,504	4,959	28,107	40,570
(対計画比%)	(53.3)	(76.0)	(106.1)	(89.2)	(80.5)	(81.6)	(99.2)	(78.1)	(42.9)	(62.0)	(85.8)	(69.6)
(対前年比%)	(65.6)	(114.7)	(105.0)	(97.8)	(88.6)	(82.5)	(93.1)	(77.6)	(58.2)	(94.5)	(79.7)	(76.0)

2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産

・株出栽培の割合

68.2%

→

73.2%

・さとうきび作農家戸数

701戸

→

687戸

・平均糖度

14.1度

→

14.8度

増産目標に対する位置づけ	令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった			
		収穫面積	単収	生産量
	(計画)	1,065ha	5,469kg/10a	58,250t
	(実績)	950ha	4,270kg/10a	40,570t
	令和5年度は、生育期に降水量が少なく、台風6号の通過により折損や葉片裂傷など多大なる被害を受けました。実績で生産量が40,570t(対計画比65.3%)と、単収は4.3t(対計画比68.3%)と予想数量には及ばなかった。令和6年度は、早期の株出管理や適期春植えを推奨し、併せて耕作放棄地を解消し、さとうきびの収穫面積の拡大、植付作業が一体的に行えるよう体制整備を図る。			
課題	① 病害虫の防除を継続して行う ② ハーベスター、ビレットプランタ等の機械化導入に向けた取組 ③ 地力の増進			
令和5年産における取組方針	主なさとうきび生産振興策として ① 病害虫防除の実施を徹底 ② 機械化の更なる推進 ③ 地力の増進に向けた土づくり対策の啓発を図る			

(1)経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 ・国の事業及び久米島製糖の事業を活用した遊休地の解消 ・手刈班の設置	・認定農業者の育成 ・受託体制の強化 ・自家苗栽培の指導																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>認定農業者</td><td>18</td><td>10</td><td>6</td><td>14</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>農業法人</td><td>11</td><td>9</td><td>21</td><td>24</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	18	10	6	14	3	2	1	0	農業法人	11	9	21	24	4	0	0	0																											
			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																																														
認定農業者	18	10	6	14	3	2	1	0																																																
農業法人	11	9	21	24	4	0	0	0																																																
【課題】 ・受託体制の確立 ・高齢化対策																																																								
②農業共済制 度への加入促 進	【実施した取組】 ・共済組合、JA、久米島製糖、久米島町、各字区長による戸別訪問を継続して行った ・農家掛金の補助を行った(町単独事業)	・生産者の共済加入率が低い状況にあるため、引き続き加入促進を図る																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><th></th><th>H28 (29年産)</th><th>H29 (30年産)</th><th>H30 (R元年産)</th><th>R元 (R2年産)</th><th>R2 (R3年産)</th><th>R3 (R4年産)</th><th>R4 (R5年産)</th><th>R5 (R6年産)</th></tr><tr><td>加入戸数 (戸)</td><td>290</td><td>253</td><td>228</td><td>211</td><td>207</td><td>205</td><td>189</td><td>180</td></tr><tr><td>戸数引受率 (%)</td><td>39.0</td><td>34.8</td><td>31.8</td><td>32.5</td><td>29.7</td><td>32.9</td><td>27.1</td><td>26.3</td></tr><tr><td>引受面積 (ha)</td><td>433</td><td>400</td><td>272</td><td>253</td><td>260</td><td>272</td><td>246</td><td>130</td></tr><tr><td>面積引受率 (%)</td><td>48.5</td><td>43.5</td><td>29.3</td><td>25.8</td><td>28.6</td><td>33.3</td><td>27.1</td><td>13.4</td></tr><tr><td>共済金額 (千円)</td><td>353,761</td><td>323,085</td><td>248,033</td><td>245,598</td><td>262,617</td><td>245,678</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)	加入戸数 (戸)	290	253	228	211	207	205	189	180	戸数引受率 (%)	39.0	34.8	31.8	32.5	29.7	32.9	27.1	26.3	引受面積 (ha)	433	400	272	253	260	272	246	130	面積引受率 (%)	48.5	43.5	29.3	25.8	28.6	33.3	27.1	13.4	共済金額 (千円)	353,761	323,085	248,033	245,598	262,617	245,678	-	-
			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)																																														
	加入戸数 (戸)		290	253	228	211	207	205	189	180																																														
	戸数引受率 (%)		39.0	34.8	31.8	32.5	29.7	32.9	27.1	26.3																																														
	引受面積 (ha)		433	400	272	253	260	272	246	130																																														
	面積引受率 (%)		48.5	43.5	29.3	25.8	28.6	33.3	27.1	13.4																																														
	共済金額 (千円)		353,761	323,085	248,033	245,598	262,617	245,678	-	-																																														
	注) R4、R5 年産の数値については概算値																																																							
【課題】 ・小規模農家、兼業農家が多いために共済への関心が低く、加入が少ない状況である																																																								

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題								今後の取組方向
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】								
	・かん水事業による干ばつ対策の助成								
	・防風林による被害軽減効果についてPRし、防風防潮林の整備を進めた								
	【目標の達成状況】 (単位: %)								
		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込
ほ場整備率	82.9	82.9	82.9	82.9	82.9	82.9	85.7	85.7	
水源整備率	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	56.4	55.8	55.8	
畑地かんがい整備率	44.1	44.1	44.1	45.4	45.4	45.4	44.9	44.9	
	【課題】								
	・ほ場整備地区内でのスプリンクラー等施設の活用が少ない								
	・生産者が農薬散布や散水に利用する取水施設の設置が必要である								
	・ほ場整備地区内への植栽も含めた防風林の整備が必要である								
	・スプリンクラーの有効利用を推進する								
	・干ばつ時等に散水用水が取水できる箇所の確保を図る								
	・防風防潮林の重要性を認識させ、台風被害軽減効果の推進を図る								

②機械化一貫 体系の確立	【実施した取組】 ・作業の効率化・省力化を目的としたハーベスタ等導入支援を行った。 ・オペレータ育成を目的としたスマート農業技術研修会等を開催した。 【目標の達成状況】 (単位: 台、ha、%) <table><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>ハーベスタ 稼働台数</td><td>22</td><td>22</td><td>29</td><td>30</td><td>33</td><td>32</td><td>33</td><td>35</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫面積</td><td>425</td><td>366</td><td>521</td><td>537</td><td>626</td><td>624</td><td>715</td><td>712</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫率(面積)</td><td>46.8</td><td>40.9</td><td>56.6</td><td>57.7</td><td>63.8</td><td>68.6</td><td>73.6</td><td>74.9</td></tr></table> 【課題】 ・ハーベスタ等が普及していない地域への導入を継続し推進する ・オペレーターを育成、確保する		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	22	22	29	30	33	32	33	35	ハーベスタ 収穫面積	425	366	521	537	626	624	715	712	ハーベスタ 収穫率(面積)	46.8	40.9	56.6	57.7	63.8	68.6	73.6	74.9	・補助事業を活用し、ハーベスタ等農業機械の導入を行い、農作業の省力化を推進し、面積の拡大を図る ・株出管理機の利用促進により、収穫面積の6割を占める株出の単収の向上を図る ・オペレータの養成研修参加への周知
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
ハーベスタ 稼働台数	22	22	29	30	33	32	33	35																														
ハーベスタ 収穫面積	425	366	521	537	626	624	715	712																														
ハーベスタ 収穫率(面積)	46.8	40.9	56.6	57.7	63.8	68.6	73.6	74.9																														
③地力の増進	【実施した取組】 ・堆肥の一部助成を継続して行った(生産性向上緊急支援事業) ・町独自の堆肥、石灰質資材の補助 【課題】 ・堆肥の助成を行っているが、農家に十分活用されていないため、利用促進に向けた取組を図る必要がある	・堆肥の利用を促進し単収の増加を行う ・土壌診断を実施し、土壌の改良を行う ・堆肥導入ほ場の比較ほ場を確保し、利用促進に繋げる																																				

①病害虫対策	【実施した取組】 ・さとうきび病害虫防除に対する農薬代補助 【課題】 ・病害虫防除の推進	・引き続き共同防除及び農薬の助成を行う ・病害虫防除を推進する																																																															
②優良品種の 選択・普及	【実施した取組】 ・無病健全な優良種苗の導入普及 ・早期高糖性品種の導入 【目標の達成状況】 (単位: %) <table><tr><td></td><td>H28 (実績)</td><td>H29 (実績)</td><td>H30 (実績)</td><td>R元 (実績)</td><td>R2 (実績)</td><td>R3 (実績)</td><td>R4 (実績)</td><td>R5 (実績)</td></tr><tr><td>農林15号</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>農林17号</td><td>1.5</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.3</td></tr><tr><td>農林21号</td><td>50.2</td><td>44.4</td><td>33.6</td><td>25.9</td><td>19.5</td><td>17.0</td><td>14.9</td><td>13.1</td></tr><tr><td>農林22号</td><td>3.9</td><td>3.1</td><td>1.6</td><td>1.0</td><td>0.4</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>農林27号</td><td>25.4</td><td>32.7</td><td>45.0</td><td>55.3</td><td>64.6</td><td>68.6</td><td>68.3</td><td>64.7</td></tr><tr><td>農林28号</td><td>7.6</td><td>5.5</td><td>3.5</td><td>1.7</td><td>1.2</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>0.3</td></tr></table> 【課題】 ・品種の構成の適正化		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林15号	-	-	-	-	-	-	-	-	農林17号	1.5	-	-	-	-	0.1	0.3	0.3	農林21号	50.2	44.4	33.6	25.9	19.5	17.0	14.9	13.1	農林22号	3.9	3.1	1.6	1.0	0.4	0.3	0.2	0.2	農林27号	25.4	32.7	45.0	55.3	64.6	68.6	68.3	64.7	農林28号	7.6	5.5	3.5	1.7	1.2	0.5	0.5	0.3	・育種委員会等と連携し、新たな優良品種の導入を図る ・優良品種、新品種の模索・検討を継続的に行う。農家個人による自家苗の確保を推進する
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																									
農林15号	-	-	-	-	-	-	-	-																																																									
農林17号	1.5	-	-	-	-	0.1	0.3	0.3																																																									
農林21号	50.2	44.4	33.6	25.9	19.5	17.0	14.9	13.1																																																									
農林22号	3.9	3.1	1.6	1.0	0.4	0.3	0.2	0.2																																																									
農林27号	25.4	32.7	45.0	55.3	64.6	68.6	68.3	64.7																																																									
農林28号	7.6	5.5	3.5	1.7	1.2	0.5	0.5	0.3																																																									
③栽培技術の 普及等	【実施した取組】 ・一芽苗等を利用した補植技術の普及 【課題】 ・担い手不足、高齢化から株出し管理が遅れる傾向にある ・施肥、除草剤の基本的栽培技術の励行が必要である	・チラシ配布、講習会の開催・個別指導等を行い、適期管理を推進する ・オペレータの育成、技術向上を図る																																																															